公益社団法人 中間市シルバー人材センター

平成30年度 安全ニュース 第3号（11月発行）

◆安全対策実施計画

月	重点実施項目	遵　守　事　項	摘　　要
１１	安全の再確認	☆ 道路沿いでの作業では安全チョッキ及びヘルメットを着用し、作業中看板等を設置すること。 ☆ 安全心得を厳守し、安全意識の再確認を行うこと。	☆ 無理な姿勢・行動の禁止 ☆ 安全用具の着用徹底
１２	健康管理	☆ 定期的に健康診断を受け、早期発見・治療を心掛けること。 ☆ 体調が優れないときには就業しないこと。	☆ 日頃からの健康観察・管理 ☆ 市の健康診断受診の奨励 ☆ 年末の大掃除の実施 ☆ 年末の交通安全県民運動 １２月１１日～１２月３１日 ☆ 年末年始災害防止月間
1	交通安全の徹底	☆ 交通ルールを厳守し、就業途上の交通事故には十分注意すること。 ☆ 道路の横断は左右を確認し、通行車輌に十分に注意すること。	☆ 年末年始災害防止月間 ☆ 酒気帯び・飲酒運転の厳禁 ☆ 夜間時の反射材着用 ☆ 自転車・バイク走行時のヘルメットの着用
2	作業備品の総点検	☆ 安全備品・作業備品の点検を行い、不良箇所がないか確認すること。 ☆ 倉庫内の不良品を処分し、整理・整頓を心掛けること。	☆ 欠陥備品の点検・修理 ☆ 使用道具の管理徹底
3	草取作業による事故防止	☆ 安全就業を心掛け、リーダーからの指導・誘導・注意には従うこと。 ☆ 作業現場の状況を確認し、斜面での作業では転倒に注意すること。	☆ 現場下見、点検の徹底

◆中間市シルバー人材センター事故報告（９月から１０月分）

月	事　故　内　容
９月①	草刈中に石を飛ばし、マイクロバスの窓ガラスを破損した。
９月②	梯子を移動中、駐車場に駐車していた、笠松氏の軽自動車のリアガラスに梯子をあて破損させた。
９月③	公用車１号車の運転席のドアを開けたとき、風がふき隣に駐車している車に傷をつけた。
９月④	会員がやぎを放牧するため、垣生池裏の道路（市道）に設置してある車止めポールを作業車両の移動のため、１時間ほど外し立てかけていた。猫散歩中の市民が猫に引っ張られた拍子に、立てかけていたポールが倒れてきて怪我をした。

◆全シ協事故報告（７月から９月分）

月	事　故　内　容
７月①	作業者２名で請負企業の西側と南側に分かれて、当該者は南側の法面を担当して草刈を行なっていたが、企業従業員が倒れているところを発見し病院に救急搬送されたが死亡した。死因は大腿動静脈損傷による失血死。
７月②	３ｍ位の木の剪定作業のため脚立を使用していたが、誤って脚立を踏み外したか、脚立が倒れて転倒した。（目撃者がいないため不明）。病院に救急搬送されたが後日死亡した。
７月③	就業後、自転車を使用しての帰り道、市道で倒れているところを通行人によって発見され、病院に搬送されたが後日死亡した。死因は頭部右側後方の重症頭部外傷。
７月④	剪定作業中、脚立に登りトリマーで作業を行なっていたが、トリマーを片手で持ちながら降りたところ、中段で足を踏み外し脚立から落下し、後頭部を強打し病院に救急搬送されたが死亡した。
８月①	就業場所でゴミを集積し会員の自家用車に積み指定されたゴミ集積場所に降ろし、車に乗りこみエンジンを掛けたが近くに駐車していた他の車に接触した。現場に居合わせた人に発見され、病院に搬送されたが死亡した。 死因は「急性冠症候群」の疑い。

月	事　故　内　容
８月②	庭木剪定作業中にアシナガバチに刺されたため、自家用車を運転し病院に向かっている途中、他の自動車と接触事故を起こした。直接死因は蜂に刺されたことによる「アナフィラキシーショック」。
８月③	就業中、体調が悪そうだったため、仕事を切りあげて帰宅途中したが、就業場所付近路上で心肺停止状態で倒れているところを発見され、病院に搬送されたが死亡した。死因は「心筋梗塞」。
８月④	海水浴客が溺れたとの通報を受け、業務外である救助に１人で向かい、溺れて死亡した。センターから会員に対し、人名救助行為は行なわないことになっていることを伝えており、会員も理解していた。
８月⑤	水田地帯の水路内にいるジャンボタニシの駆除作業を２人で行なっていたが、車中で一緒に昼食をとる時間になっても戻らなかったので探したところ、水路内に俯せ状態で発見された。直接死因は「熱中症」。
９月①	森林組合職員２名と共に死亡会員を含む会員２名で山林地籍調査杭打ち作業中、約５０m滑落事故が発生し、病院に搬送されたが死亡した。
９月②	公園の清掃作業終了後、自転車で帰宅途上10ｔダンプトラックの左折時に巻き込まれ死亡した。

◆ 中間市シルバー人材センターでは9月に4件事故が続きましたが、10月は無事故でした。これからも安全就業お願いいたします。